

練馬の春闘 第23回 世直しだいこん行進を開催

春の風に乗って
要求をプラカードに託し行進

4月6日（水）、練馬の春闘運動「第23回世直しだいこん行進」を行いました。

練馬労連からは、金田さん、吉沢さんのほか、東京福祉バス従業員組合練馬支部・支部長の河村さんが参加され、全体で総勢165人が参加しての取り組みでした。



写真上 豊玉公園からのパレード

写真下 ココネリホールでの終結集会

ドバンクの取り組み、公保連からは、谷原保育園の閉園問題、東京土建からは、公契約条例の意義、区職労からはコロナと保健所の問題、和田さんはウクライナ情勢などを話されました。

終わりに、練馬労連議長金田さんが閉会あいさつを務め「間近に迫った区長選挙や区議会議員補欠選挙は、私たち労働者をはじめ、多くの区民の願いを実現させる大きなチャンスだ。

フードバンク節目の
10回目を開催

練馬労連も加わるフードバンクの取り組みは、4月23日に10回目を開催しました。2020年の12月に一回目を開催、約一年半で10回目の開催です。今では毎回120人を超える方が食料品や日用品を受け取りに来場されます。物資の提供をして下さる方大歓迎です。（物資は、練馬労連までお送りください）宜しく願います。

練馬区長選挙は

吉田健一さんが大善戦・大健闘

4月17日に投票された練馬区長選挙は、35年ぶりに一騎打ちで行われ、練馬労連も加わる「革新都区政をつくるみんなの会」が推薦した吉田健一さんは、惜しくも当選はなりませんでした。

吉田さんは「区民が主役の区政を取り戻す」「ポーン」や退職金を頂かない。そのお金はフードバンク

2022年4月17日投票開票
練馬区長選挙開票結果



吉田健一さん 93,397票
当前川氏 95,540票

や奨学金などに活用」「区立施設の民営化は、経費削減ではなく住民サービス向上の観点から再検討」と訴え、選挙戦をたたかいました。

練馬区では、昨年の総選挙で、市民と野党の共闘の結果、自公が推す候補を破りました。

今回の区長選も総選挙と同様にその共闘が大きく展開され、現職に約2100票まで迫る大健闘を見せました。

これまで2期つとめた前川区政のもとで、区立保育園を何の説明が無く、突然閉園を決めるなど、トップダウンで重要な事業が次々に決定されている現状への、区民の静かな怒りがこの結果に表れたと思います。

3期目に入る前川氏には、この結果を厳粛に受け止めて頂き、これまでの政治からの転換を求めたいと思います。

また、この選挙戦の経験・教訓を参院選に活かしていきたいでしょう。

支援を頂いた練馬労連各組合の皆様、東京地評並びに東京地評を通じ推薦して下さいました組合や団体の皆様に心からお礼申し上げます。ありがとうございます。

練馬労連は平和・憲法を守る取りくみを強化します

昨年総理大臣に就任した岸田氏は「憲法改正をやめ、現行憲法を堅持する」と表明しています。その後行われた衆院選で、自民党と公明党の合計

議席数は295人で、憲法改正に必要な3分の2（310議席）には届きませんが、日本維新の会、国民民主党を加えるとはるかに上回る議席数となっています。

今年は参議院選挙が行われます。参議院の定数の3分の2は、164人です。もし、この選挙で自民党・公明党・日本維新の会が3分の2以上の議席数になれば、憲法改正・改悪へ大きく進むことになりかねません。（4月20日時点での参院議席数は、自民109・公明28・維新15・国民民主16で、合計168議席です）

憲法改正が進めば、日本国憲法が施行され75年間、大事に守ってきた様々な条文、平和憲法である九条、基本的人権を守る十一條などが無くなってしまう恐れがあります。そのため、現在私たち練馬労連が加盟する東京地評（東京地

方労働組合評議会）では、憲法を守るための取りくみを強化しています。

**憲法改悪を許さない
全国署名に組合ごとに取りくんでください**

先月から各組合に「憲法改悪を許さない署名」をお送りし、取り組みをお願いしています。ぜひ署名にご協力お願いします。

はたらく青年の実態調査アンケートに取りくんでいます。

「コロナ禍で直面した困難、青年が抱えている実態、生の声を明らかにし、社会に大きくアピールするためのアンケートです。回答は、左のQRコードからお願いします。

